



庶民の会
林田 勉 議員

問 本当に実現するのか、復刻版1号機関車

Q 復刻版『1号機関車』とは

A 明治5年イギリスから輸入されて日本で走った最初の機関車。その後、明治44年島原鉄道開業に合わせて走っていた。その歴史ある機関車の復刻版を走らせようとするものがある。

Q 復刻へ沿線他市の熱意と協力はどうか。復刻への問題は。

A 地域資源を活用した観光の活性化は各市共通の思い、連携して気運を盛り上げていきたい。車輛の導入費用・ランニングコストが問題、多くの意見やアイデアを聞き解決していきたい。全国の鉄道ファン、住民の支援もお願いしたい。

Q 実現の可能性はあるのか。

A 市の総合戦略にも掲げている、ぜひ実現を日指し頭張っていきたい。

問 『道の駅・しまばら』構想の可能性は

Q 高規格道路と新幹線の開通を見越して、また地域振興の起爆剤として道の駅はどうか。

A 高規格道路・新幹線開通後は本市への観光客の増加を期待している。複合的な活用、街づくりの拠点となっている地域もある。

Q 国の支援内容はあるのか。

A 整備の際には国交省・農水省などの支援助交付金がある。

Q 将来的に事業計画への可能性はあるのか。

A 高規格道路、圃場整備などと連携を取りながら将来的な構想として考えていければと思っている。

問 新制度、「人事評価」の結果はどうなった

Q 評価基準 S・A・B・C・Dの各人数は。

A 28年度上期の業績評価は管理職では、特に優秀Sが1人、優秀Aが9人、良好Bが29人、C・Dはいない。一般職ではAが75人、Bが255人、良好でないCが7人である。



バラの会
本田 みえ 議員

問 受動喫煙の取り組みについて

Q ①新庁舎の喫煙所は誰のためのものか。②厚生労働省が受動喫煙防止策を強化する健康増進法改正を行うのは2019年のラグビーワールドカップ前。庁舎完成は2020年1月なので新庁舎内の喫煙所は使えなくなるがどうするのか。

A ①職員、来庁された喫煙者のための喫煙所である。②倉庫等、他の用途に変更する。

Q 新庁舎の川床デッキは建物外であり、閉庁時にも市民は利用できない。貴重な財源を有効に活かすためにも、建物外に喫煙所の設置を求めたい。

受動喫煙の焦点は健康リスク。吸わない人をいかに健康被害から守るかが問題の中心にならなければならぬ。生産者の権利、喫煙者の権利、非喫煙者の権利をどう守るのか。

A 生産者に対しては産業面、農業面からも支援していく。市のたばこ

問 犯罪被害者等の支援について

税は約3億6千万円で貴重な財源である。これらを勘案して受動喫煙対策には対応している。

Q 犯罪被害者等支援について市の取り組みは。なぜ市民相談センターに女性を配置しないのか。DV等は女性が被害に遭う確率が高いので、相談は男性より女性の方がいいのではないか。

A 相談室は非常勤職員2名体制で1名は警察OBを採用している。内容に応じて、福祉関係の女性相談員と一緒に相談を受けている。DV等の相談があった場合、センターで受け付けをして、福祉部門の相談員と一緒に相談を受けていただくという事で対応している。

【その他の質問項目】

◇築城400年祭に向けての公共交通のあり方について
◇和服の活用について